



いいおかっ子

【校訓】素直にたくましく

旭市立飯岡小学校
学校だより第11号
令和8年2月25日

ホームページ HPは
こちらから→



「一月往ぬる(行く)、二月は逃げる、三月は去る。」といいますが、2026年がスタートしてからあつというまに2ヶ月が過ぎ、いよいよ年度末の3月に入ろうとしています。この時期は、学力テストや学習のまとめ、学年末保護者会、行事や進学・進級の準備など目白押しです。2月26日(木)には、6年生を送る会が開催され、いよいよ卒業へのカウントダウンが始まりました。

◆集まれ!未来のアーティスト2026◆

旭小・中学校図工美術作品展(1月17日(土))に出品した18名の作品を展示いたしました。(飯岡小の職員玄関フロアにて3月末まで展示中) 表彰児童の紹介は、前号(1月第10号)で紹介しています。



楽しみながらレベルアップを目指して! 『なわとび教室』 & 大なわとび新記録に挑戦! 『なわとび集会』

1月29日(木)に、なわとびのプロプレーヤー『おかもん(岡本悠)さん』らをゲストティーチャーにお招きして『なわとび教室』を開催し、低中高学年ごとに年齢に合わせたとび方のコツや、とび終わった後の決めポーズなどを教わり、なわとびの楽しさと正しい跳び方を教えていただきました。



そして、本番となった2月3日(火)に、授業公開を兼ねて、『なわとび集会』が行われました。ここまで、授業や休み時間に、長なわとびの練習、クラスごとに個人での短なわとびの跳躍数に挑戦してきました。日々のチーム練習では、友達が失敗しても気落ちせずに再度チャレンジできるよう励まし合いながら、皆で力を合わせて新記録にチャレンジする姿は、とても頼もしく素晴らしいです。当日は、クラスの最高記録を目指して果敢にチャレンジし、来場した保護者の皆様にも、子ども達の頑張りが伝わったと思います。(集会当日の結果は右の通りです。)

<大なわ最高回数/短なわ平均回数>

1年	109回/平均 85回
2年	231回/平均 125回
3年	218回/平均 121回
4年	260回/平均 136回
5年	白243回/ 赤209回/平均 134回
6年	白269回 赤212回/平均 149回



学校運営協議会との連携・地域協働活動 ▶▶▶ 地域と学校で育つ飯岡っ子 ◀◀◀

本校では、<学校運営協議会(コミュニティ・スクール)と地域学校協働活動の一体的促進>による「保幼小連携、地域のよさを生かした活動と地域交流」に力を入れています。令和7年度は、「地域と学校で育つ飯岡っ子～あいが連動した取組(愛&合い:～しあう)」をスローガンに掲げ、学校運営協議会との協働により、今回の企画が実現しています。

地域の方が昔の遊びのティーチャーに小
～大人も懐かしむ!・2年生昔の遊び体験～

小学校入学が楽しみになりますよ～に小保幼・1年生の交流会
～いいおか幼稚園・ひかり保育園と昔の遊びで交流～

地域との交流・高齢者の方々のやりがい創出



保幼・小1の交流・小1ギャップ解消



6年生卒業記念特集

1月から2月にかけて、6年生は小学校最後の思い出作りとなる活動を多く企画しました。最後の校外学習では、東京方面へ行き、科学技術館で科学の楽しさと可能性を体験し、東京スカイツリー見学では、展望デッキからの眺めこころ躍らせ、大都会の広さに目を輝かせていました。

卒業記念企画として、「黒板アート教室を開催しました。講師に旭市出身の画家・チョークアーティストの鈴木蘭菜(らな)さんをお迎えし、黒板アートの魅力を実演してもらい、6年生と対話しながらの小学校生活の思い出アート「ランドセル」を卒業記念作品として児童と一緒に制作してくれました。



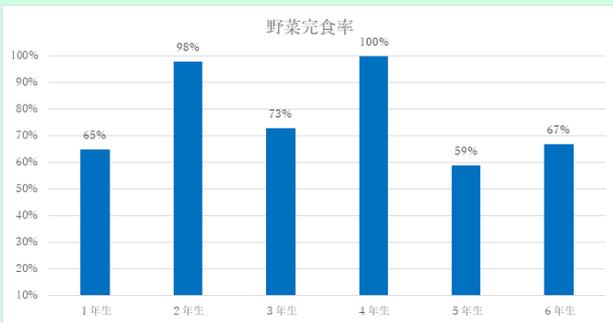
6年生が入学した頃は、コロナ禍で様々な学習や体験活動、校外学習が制限されていました。そこで、低学年の頃に、親子体験もできなかったので、「卒業企画」として親子米粉ケーキ作りを外部講師を招いて行いました。小学校卒業を前に、素敵な思い出の1ページがまた一つ増えました。



学校保健委員会報告その2/「給食残菜を減らそう大作戦」偏食のない食生活の改善を。

＜給食委員会による「残菜を減らそう大作戦」実施結果・2026年2月10日発表 配膳室前廊下に掲示中＞

令和8年2月4日(水)～2月6日(金)に、「野菜を食べよう大作戦②」を行いました。



野菜の完食率とは＝おかず、汁もの
 大作戦① 学校全体完食率 67.5%
 ↓
 大作戦②(左グラフ参照) 77.0%

本校の学校保健委員会の報告によると、昨年度まで(R5～R6)は、旭市内の小学校の中で、本校は、給食での野菜の残食率が多く、特に、野菜の和え物や汁ものの残食が目立ちました。これは、学校全体の課題であり、昨年度から、家庭教育学級や出前授業で栄養教諭から食の大切さを学んだり、給食委員会で、児童考案の「残菜を減らそう大作戦」と銘打って、給食の野菜を完食する取組を実施してきました。委員会で出されたアイデアは、「野菜を完食した子に、オリジナルカードをあげる」という案でした。昨年度この取組をした結果、「野菜が食べられるようになった」との意見があったことで、R7も実施しました。(グラフ参照)

令和7年9月29日(月)～10月1日(水)の大作戦①と比較し、大作戦②では学校全体の完食率が77%に上昇することが出来ました。今後も引き続き、食の大切さについて児童が理解を高める取組を行っていきます。

そして、何より家庭での食事への関わりが重要です。育ち盛りですので、食習慣と栄養バランスを意識した偏食のない食生活を心がけて頂き、食べ残しがなくなるよう家庭と連携を図っていきますので、引き続きご協力をお願い致します。



児童の感想から

- ・カードがもらえて嬉しかった。また、完食してカードをもらいたい。
- ・これからも、給食を完食したい。
- ・クラス全員完食を目指して、毎日食べている。
- ・他の種類のカードも集めたい。